

国名勝指定コース

電車・バスでお越しの方は①→⑨へお歩きください。
お車でのお越しの方は⑨→①へお歩きください。



バス停「不老橋」 bus stop 'Furo-bashi bridge'

① 玉津島神社 Tamatsushima-jinja shrine

② 奠供山 Mt.tengu

③ 鏡山 Mt.Kagami

④ 芦辺屋・朝日屋跡地 The sites of Ashibeya, Asahiya

⑤ 塩竈神社 Shiogama-jinja shrine

⑥ 不老橋 Furo-bashi bridge

⑦ 妹背山 Mt.Imose

⑧ 和歌川河口干潟 Wakaura tideland

⑨ 片男波 Kataonami

P 和歌山市営「片男波海水浴場駐車場」
Wakayama City Kataonami beach parking

このマークは眺望ポイントです。

① 和歌三神の一柱 玉津島神社

玉津島一帯は神代より神のおわすところとして崇められてきました。祭神は稚日女尊・息長足姫尊（神功皇后）・衣通姫尊・明光浦の霊が祀られ古代から和歌の神として尊敬を集めてきました。多くの歌人や秀吉も詣でられ、後に浅野幸長によって御本殿、徳川頼宣によって本社殿などが再興されています。現在、境内には珍しい衣通姫桜が植樹されています。

② 明光浦の霊を祀った 奠供山

玉津島山のひとつで聖武天皇が景観を賞賛され、玉津島の神・明光浦の霊を奠祭するよう命じられたことが由来です。称徳天皇行幸の際に雅楽・雑技が演じられた望海楼がこの南麓にあり紀州藩の儒学者・仁井田好古の撰文碑「望海楼遺址碑」にはこの地が天下の名勝地であることが刻されています。

③ 原風景が残る 鏡山

玉津島山のひとつで、鈴や鏡が発掘されたことから名付けられたと言われています。紀州の伽羅岩でできた岩肌は美しく、山頂から望む干潟は絶景です。

④ 浜辺の茶屋 芦辺屋・朝日屋跡地

江戸時代、ここに二軒の茶屋が設けられました。明治期以降、多くの文人墨客が宿泊され、南方熊楠も孫文を芦辺屋でもてなしています。近くには渡し場があり、名草山・紀三井寺へはここから舟で渡ることができました。現在、和歌公園として整備され芭蕉の句碑が残されています。

⑤ 洞窟の祓所 塩竈神社

高野山にゆかり深い丹生都比売神社から浜降りの神事が行われた際、神輿を奉置されたことから輿の窟と呼ばれ、自然浸食した洞窟の祠に塩槌翁尊が祀られています。現在、製塩・安産・子授けの神として親しまれています。

⑥ 不老不死の願いがこもる 不老橋

紀州東照宮の祭礼・和歌祭が行われる際に紀州藩主が御旅所へ向かわれるために架けられた石橋です。九州地方以外では珍しい江戸時代のアーチ式石橋で欄干に掘られた神仙思想に基づく五雲模様はみごとです。

⑦ 徳川家の想いが詰まる 妹背山

玉津島山のひとつで、中国杭州西湖の趣がある県内最古の石橋三断橋を渡ると、観海閣や妹背山多宝塔があります。観海閣は対岸の名草山・紀三井寺を望め、庶民にも解放されてきました。家康の側室・養珠院（お万の方）は家康の三十三回忌に平和を祈願し約十五万個の経石をこの山に納めました。養珠院没後、頼宣は母を弔いそこに多宝塔を建立しています。

⑧ 名勝の核 和歌川河口干潟

古代より和歌の浦の景勝の核となってきた干潟は旧紀ノ川になる和歌川の河口部にあり、河川が運ぶ土砂が堆積して形成されています。山部赤人が詠んだ歌はまさにこの干潟を含む景観です。近年ではハクセンシオマネキ・ワカウラツボなどの希少動物が生息し、重要湿地として指定を受けています。

⑨ 白砂青松の 片男波

特徴ある長く美しい砂洲は、海から吹き上げる砂によって形成され多くの歌人によって詠われました。近年では昭和天皇御在位六十年記念公園が建設され、万葉館など文化施設や万葉の小路があり整備された散策道になっています。



和歌の浦絵図は村瀬憲夫「万葉和歌の浦/若の浦に潮満ちて」求龍堂1992に一部加筆